

## 公募 新鋭作家展

### 第 8 回優秀者 上坂直・蓮沼昌宏

#### 出品者（第 8 回優秀者）

##### ●上坂直（うえさかなお）

建築を学んだ技術を生かした模型的立体物のなかに、自身が感じてきた暮らしの地域差や家庭の違いを表現する。衣装ケースを部屋に見立て何気ない生活の 1 シーンを入れて覗かせることで、画一的で無機質なイメージの集合住宅のなかにも人間臭い暮らしがある「都市の姿」を探っていく。

主な実績として〈池袋アートギャザリング〉（2018 年）、〈NIIGATA オフィス・アート・ストリート〉（2017 年、同展優秀賞受賞）、〈Tokyo Midtown ストリートミュージアム〉（2016 年、同展オーディエンス賞受賞）など、多くのコンペティションを通過。本展では大型マンションや建売住宅の多い地域への興味をきっかけに、市民に部屋の模型をつくってもらう協働制作を通し新作を発表予定。

##### ●蓮沼昌宏（はすぬままさひろ）

異文化交流、自己と他者、集団と個人といった、一見相反するが実は共存している物事に興味を持つ。絵画・絵本・映像・写真・アニメーションなど多様なメディアを用いて個人の内面に通じるファンタジック要素の強い小さな作品を制作し、それを多く並べることで集団（社会）としての在り方を提示・問題提起する。

主な実績として、「信濃大町『まれびとの地』」にてレジデントアーティストに選出（2018 年）、文化庁新進芸術家海外研修制度にてフランクフルト滞在（2016-17 年）など、多くのレジデンスを経験。本展では様々な背景を持つ人々が暮らしていることで注目される UR 芝園団地を取材し、そこにある個人の物語を捉えたアニメーションや絵本を制作予定。

## 第14回アーティスト・イン・スクール

### タムラサトル（現代美術家）×川口市立前川東小学校（学年未定）

#### 講師

#### ●タムラサトル

素材や形態から連想される意味・目的・用途などを失わせ、「自由」になる制作を目指す。極限まで意味を失うことで成り立つ作品は笑いを含んだ軽やかさを持って提示されるが、同時に「これは何なのか」「何のために制作するのか」を深く考えさせる力を持ち、鑑賞者が無意識に持っている杓子定規な価値観をぐらつかせる。

主な実績として、最近は〈タムラサトル展 Wall to Wall〉（さいたま市プラザノース開館10周年記念展、2019年）、〈Point of Contact #7〉（TUUKAYAMA GALLERY、大阪府、2018年）などの個展を中心に発表するほか、栃木県立美術館（2017年）、群馬県立館林美術館（2017年）、釜山市立美術館（2016年）などで企画グループ展に参加。〈International Light Art Award 2017〉にてFirst Prizeを受賞。